

第9回「相米慎二監督映画祭り」開催記録

魅力発信、田子に眠る映画監督



相米 慎二 監督

第9回

映画祭り

2025.8.30

青森県田子町
タブコピア
プラザホール

午前部 10:45~
上映後、舞台挨拶

午後部 13:20~
上映後、トークショー

上映作品 1990年公開 109分



トークショーゲスト (来場予定)



俳優
中井 貴一



衣装デザイナー
小川 久美子



映画監督
榎戸 耕史



映画監督
富樫 森

入場無料 (全席自由)

入場整理券が必要です。
入場整理券をご希望の方は、
往復はがきにてお申し込みくだ
さい。申込者多数の場合は抽選
となります。なお、未就学児の
ご入場はご遠慮いただきます。
申し込み締め切り
7月31日(木) 必着
原則として、入場整理券は当日
会場受付でお渡しとなりますの
で、必ず当選はがきをご持参く
ださい。

往復はがきの書き方

送附先 田子町

〒030-0000 青森県田子町

〒030-0000 青森県田子町

〒030-0000 青森県田子町

お名前

〒030-0000 青森県田子町

〒030-0000 青森県田子町

〒030-0000 青森県田子町

※③の電話番号は日中連絡がつく場合、
同定電話でも可。※午年希望の抽選に当
れた場合、自動的に午前の抽選にまわり
ます。※入場整理券は一人様一枚まで。



たっこまち
【青森県 田子町】

【会場・ロビー】 頂戴したメッセージや監督作品ポスター、遺族寄贈の貴重な資料などを展示しました。



【舞台挨拶・見どころ紹介・トークショー・抽選会】撮影時のエピソードや監督の様々なお話が紹介され、お客様も大満足でした。



【お墓参り】 相米監督の令兄 相米琢磨さんと関係者の皆様で相米慎二慰霊碑へ、相米監督の眠る墓前で静かに手を合わせました。



田 子

故相米監督 今でも意識



映画祭り 中井貴一さんトーク

田子町ゆかりの映画監督・故相米慎二さんの魅力に迫る第9回「相米慎二監督映画祭り」が8月30日、町タフコヒアンプラザホールで開かれた。監督9作品目の「東京上空いらっしゃいませ」(1990年公開)が上映され、出演した俳優・中井貴一さんがゲストとして登場。トークショーでは、相米監督の人柄や撮影中のエピソードなどをユーモアを交えて語り、約380人の観客を楽しませた。

(藤田幸雄)

人柄や撮影エピソード披露

「東京上空」は、一度天国へ行ったが、気のいい死神をだまして地上へ舞い戻った少女の奮闘を描いたファンタスティック・コメディ。中井さんはキャンペーンガールの少女の広告代理店の担当者を演じた。トークショーには、同作品など多くの相米監督作品で衣装を担当した小川久美子さん、フリーの助監督として相米作品を支えた映画監督の榎戸耕史さんと富樫森さんも登壇した。

中井さんは、相米監督「トークショーで相米監督の思い出や撮影時のエピソードなどを語る中井さん」と小川さん

の演出スタイルについて「こつともなくしつこく、なかなかオーケーを出さなかった。役者にも厳しかった」と、破天荒ぶりを披露した上で、「小津安二郎監督に共通する点がある気がする。役者に芝居をさせるのではなく、役が降りてくるのを待っているようだった」と強調した。

相米監督作品に出演した中井さんら役者たちの間では「相米監督に見てもらっても恥ずかしくない演技だったんだろうか、相米さんだったら何と言ったんだろうか」と、今でも相米監督を意識していることを明かした。

中井さんはまた、相米監督との私生活での思い出も数多く披露し、「とにかく人たらしで、人を引き寄せる力があつた」と感慨深そうに語った。父が田子町出身の相米監督は、「セラー服と機関銃」など13作品を世に送り出した。2001年9月、肺がんのため53歳で死去。生涯独身を貫いたため遺骨は同町にある先祖代々の墓に納められている。

田子ゆかりの監督・相米慎二映画祭り

中井貴一さんら思い出語る

田子町に眠る映画監督、相米慎二さんをしのぶ映画祭りが30日、同町のタプコピアプラザで開かれた。1990年公開の「東京上空いらっしやいませ」を上映し、同作品に出演した俳優の中井貴一さんと、衣装デザイナーの小川久美子さんをゲストに迎えたトークショーを開催。2人は作品にまつわるエピソードを思い入れたっぷりに明かし、名監督の魅力的な人柄を懐かしんだ。

(熊谷勝之)

同作は、死んだ女子高生が1作となった牧瀬里穂さん天国から舞い戻り、マネジャは、相米さんの厳しい演技指導の男性と心を通わせながら導に耐え抜き俳優として飛躍最後まで懸命に生きようとした。

中井さんは、同作に出演し



トークショーで名監督の豪快なエピソードを披露する
中井貴一さん(左)と小川久美子さん

て以来、共演者の笑福亭鶴瓶さんらも交えて年1回以上は相米さんと交流する間柄だった。小川さんは、相米さんがメガホンを取った9作品に加えて、現在上映中の話題作「国宝」でも衣装を担当している。中井さんは「デビューから40年以上たち、破天荒な監督に免疫を持つている方だが、相米慎二を抜く人には会ったことがない」と豪快な秘話を多岐にわたって披露し、会場から大きな笑いを誘った。

さらに、「相米さんが早く亡くなって喪失感がある。(相米作品に出演した)小泉今日子さんと僕の指針は、『相米さんに見てもらって恥ずかしくない作品にしよう』ということ」として、俳優の仕事が続ける中で常に相米さんの目を意識していることを明かした。小川さんは「衣装に関して何も言わない監督だったが、この作品では『衣装が分かるようになったな』と初めて褒められた」と話し、笑顔を見せた。

映画祭りは町主催。午前と午後の2部構成で町内外から合計730人が訪れた。相米監督は父親が同町出身で、2001年に53歳で死去した。